## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	原発性ア	原発性アルドステロン症術後におけるホルモン負荷試験評価の検討					
2. 対象患者	として片化	2013年4月〜2020年3月の期間において、当院で原発性アルドステロン症として片側副腎摘除術を行い、手術前後で負荷試験による評価を行っている17例					
3. 対象となる期	間	2013年	4月 1日	~	2020年 3月	31日	
4. 実施診療科等	弘前大学	弘前大学医学部附属病院内分泌内科 糖尿病代謝内科					
5. 研究責任者	氏名	村澤真吾		所属	内分泌代謝内	7科学講座	
6. 共同研究機関 (共同研究機関 者)		なし					
7. 研究の意義	療による	原発性アルドステロン症は内分泌性高血圧の原因となる疾患で、手術治療による根治が期待される疾患です。しかし、術後の内分泌学的評価については定まった基準がありません。					
8. 研究の目的	原発性ア て検討し	ルドステロン症 <i>の</i> ます。	手術前征	後での内分	泌学的評価の	方法につい	
9. 研究の方法 (使用・提供す よび外部に提 の方法等)	る資料等お 腎摘除術	13年4月〜2020년 を行った患者様 の血圧や血糖、 す。	を対象に	、過去の診	療記録(カルラ	テ)を調査し、	
10. 個人情報の係	者様個人は研究成れま開いる。もしている。 がいい かいい かいい かいい かいい かいい かいい かいい かいい かいい	めに収集した診察を特定できる情報を特定できる情報を表した。 は果の公表時に際いいます。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	報は削除 しても、見 学部附属 でを拒否し ただし、見	し匿名化い 患者様個人 属病院のホ よたい意向に 既に研究成	たします。当記 を特定できる! ームページ上・ があれば、その 果が公表済の	す研究以外に 情報は保護さ で公開しま )患者様の	
11. 利益相反に関	関する状況 利益相反	5状況 利益相反はありません。					
12. 連絡先	弘前大学	弘前大学大学院医学研究科内分泌代謝内科学講座 助教 村澤真吾					
	電話	0172-39-	5062	FAX	0172-39-	-5063	